

若手アカデミー会議（第 24 期・第 3 回）国際分科会
議事録

日時： 平成 30 年 8 月 31 日（金）10:00～12:00

会場： 日本学術会議 会議室 6-C（3）

出席者： 新福、岸村、馬奈木、松中、竹村（Skype）、西嶋

議事

1. プロジェクトの進行と、これからの進め方について
進行中のプロジェクトについて新福委員長から説明があった。
2. INGSA ワークショップ/プレカンファレンスワークショップについて
 - ・新福委員長から INGSA ワークショップの概要およびプレカンファレンスワークショップの準備状況について説明があった。
 - ・プレカンファレンスワークショップ開催に関連して、国際分科会を開催することが提案され、承認された。
3. アジア学術会議について
 - ・西嶋副委員長から、第 18 回アジア学術会議における、科学と社会委員会と若手アカデミーとの合同セッションの準備状況について説明があった。
4. その他
 - ・若手アカデミー主催地方イベントに関する討議を行った。
 - ・科学の社会実装に関するイベントを平成 31 年 1 月上旬に開催することで準備を進めることが合意された。
 - ・国際化に伴う大学のインフラ整備、サンプル輸出入障壁に関する活動の進捗状況について、新福委員長から報告があった。
 - ・GYA および STS フォーラムサイドイベントから、岸村委員より告知があった。
5. 次回開催
 - ・平成 30 年 11 月 5 日

ここからメモ（非公開）

4. 若手アカデミー地方イベント

【大学国際化に関するイベント】

・松中さんから、名古屋大学では部局レベルでインフラの国際化が進んでいるという説明があった。その際、以下のような案が出された。

- ・名古屋大学での事例を、他大学の事務へ向けて情報発信する
 - ・イベント周知について、大学の URA を活用する。
 - ・名古屋で開催するなら、外国人労働者を雇っている名古屋周辺の企業での取り組みについて、企業の方々に語ってもらってはどうか。
- ・今年度は下記のイベントに注力するとして、本イベントは次年度開催を目標として準備を進めるのがよさそう。

【科学の社会実装に関するイベント】

- ・馬奈木さんから、ご自身の研究をベースに、科学の社会実装に関するイベントを開催できるという提案があった。
- ・ご自身の経済学の研究を、福岡市の行政や企業、新聞などのメディアなどを巻き込まれて実装している例に、国際分科会の海外での例もご紹介する内容。
- ・科学者による、科学の直接的社会実装にということにすれば、幅広く話題提供できる。
- ・一月初旬に福岡市でイベントを行う予定で、10 月末までに企画書を日学事務局に提出する

【国際化に伴う大学のインフラ整備（中西委員担当）】

- ・10 月 2 日にヒアリング予定
 - ・文部科学省研究振興局基礎研究振興課加藤 久乃様
 - ・文部科学省 高等教育局佐藤邦明様
- ・将来的に、地方活性資金を使ってワークショップを開催してはどうか。

【イベント告知】

- ・Global Young Academy 主催 World Wide Meeting@Danan/Vietnam
→新福さん、安田さんが参加予定。
- ・EU-Japan Science Policy - boosting innovation
→若手アカデミーから参加希望者がいれば、岸村さんまで。